



医療法人清風会

- *茨木病院
- *地域活動支援センター菜の花
- *菜の花障害者相談支援センター
- *就労支援センターonwArk（オンワーク）
- *訪問看護ステーション そよかぜ

— Contents 目次 —

- 1.菜の花トピックス（ちかつアートフェスタ）
- 2.デイケア 夏のプログラム紹介
- 3.病棟夏祭り
- 4.オンワークトピックス
- 5.ホームページ紹介
- 6.救命委員会主催 院内研修

菜の花トピックス

第1回 ちかつアートフェスタ

7月11日（月）～15日（金）の5日間、イオンタウン茨木太田にて「第1回 ちかつアートフェスタ」を開催しました。茨木市内の地域活動支援センター全4カ所が参加し、利用者のアート作品や手作り作品を展示しました。

また、見に来られた方が巨大アート作りに参加したり、パラリンピックの競技にもなっている「ボッチャ」の体験会を行いました。



7月13日・14日の2日間は、茨木市内の障害福祉事業所作成の手作り商品の販売を行い、たくさんの方に購入してもらいました。7月14日は、作品の展示や販売に加えて、茨木市職員、地域包括支援センター、明治安田生命とフランスベッドの企業にもご協力いただき、血圧・血管年齢測定会や福祉用具の体験・相談会を行いました。たくさんのご参加があり大好評でした。

今回初めての開催となりましたが、たくさんのご協力・ご参加によって、地域活動支援センターの紹介や障害福祉関係の啓発につながりました。会場や備品の提供をして下さったイオンタウン茨木太田をはじめ、開催にあたりご協力・ご参加いただいた方々に御礼申し上げます。ちかつアートフェスタは、来年2月頃に第2回の実施を予定していますので、決まり次第お知らせします。



デイケア 夏のプログラム紹介

デイケアセンターでは、ストレッチや運動をしたり、病気や生活に必要なことについての知識を深めたりする、といったような様々なプログラムを曜日ごとに実施しています。今回は夏らしいプログラム『暮らしセミナー 健康に夏を乗り切る&夏を楽しもう!』を6月~9月に実施しました。コロナ禍において大々的に季節のイベントを実施しづらい状況ですが、感染対策をしながら「夏」を感じられるイベントをプログラムの中で実施しました。

プログラムでは、「健康に夏を乗り切る」と題して、熱中症や夏バテ防止について学んだり、経口補水液を実際に作ったりしました。そして「夏を楽しもう!」は夏を楽しんでいただけるような夏の遊びをたくさん盛り込んでいます。夏の定番「スイカ割り」は、2チームに分かれ、スイカに棒が当たったかどうかで点数を競いとても盛り上がりました。他にも感染対策に気をつけながら、個々での「アイス作り」「わらびもち作り」など夏にぴったりのおやつ作りもしました。8月18日にはデイケア内で小さな夏祭りも開催し、「金魚すくい」「輪投げ」「射的」「うちわ作り」などの夏らしい遊びを多くの方々に楽しんでもいただきました。プログラムを通して「夏の暑さに負けないために色々学べてよかった」「コロナ禍で感じにくかった夏らしさを味わえて楽しかった」といった感想がありました。今後も季節を感じられるようなイベントを実施し、周りの方とその経験を共有できる機会になればと思っています。



病棟夏祭り

今年もコロナの影響で、病院全体での夏祭りは開催できませんでした。

病棟ごとに夏祭りや季節の行事を行いました。射的やヨーヨー釣り、金魚すくいや紐くじ等、夏の風物詩らしいゲームを行い、最後には美味しいゼリーが振舞われました。患者さんにも祭りのハッピーやお面を着けてもらい、季節感を存分に楽しんでいただきました。

大規模な夏祭りが開催できなくなり3年になります。事前に盆踊りの練習をして、浴衣に着替えて盆踊りを踊っていた夏祭りを早く取り戻したいと思います。来年こそはコロナが終息し、地域の方々と一緒に病院全体での夏祭りが復活できることを楽しみにしています。



オンワークトピックス

コロナ禍でなかなか地域との交流ができませんでしたが、久しぶりにふたつの地域行事に参加しました。

5月28日（土） おたがいさまフェア

オンワークB型の利用者さん6名、スタッフ2名が参加しました。おたがいさまフェアは総持寺公園で開催されました。オンワークは、クッキーと自主製品を販売し、クッキーは完売、自主製品も数多く売れました。他には、服、家具、本、子供向けのゲームの出店や、楽器演奏がありました。



実際、販売に関わった利用者さんからは、「実際に販売して、地域の方と触れ合えて良かった」「自分が作成に関わった商品が売れて嬉しかった」「実際に接客が出来て良かった」との感想がありました。その他の商品も沢山の方が手に取って「かわいい」「細部までこだわっていてすごい」との声がありました。現在、B型の内職ではお客様の声や対象層に応じ、新商品の開発を進めています。皆さんもぜひ一度、手に取ってみて下さい。

8月7日（日） 三島コミセン祭り



オンワークと茨木病院デイケアセンターのスタッフ6名が参加しました。三島コミセン祭りは三島地域のコミュニティセンターが会場で、3年ぶりの開催でした。清風会の他にも様々な施設が出店し、楽器演奏やダンス発表などの公演を行っていました。清風会は革細工体験で出店し、茨木病院や精神障害のことを地域の方に知っていただいたり、普段のリハビリテーションで用いる作業の「革細工」を実際に体験していただく機会になりました。今回の体験では、革細工でペンダントやキーホルダーを作ることができ、小さなお子様から大人まで様々な方が参加されました。「楽しかった」との声を多くいただき、また、今回のことで「茨木病院ってどこにあるの?」「私も将来病院で働きたい」と関心をもってくれたお子様もいらっしゃいました。今後も地域との交流を広げ、茨木病院について知っていただければと思います。

9月10日（土）三島ふるさと祭りにも参加する予定でしたが、コロナウイルス感染拡大のため、中止となりました。来年は開催されることを願っています。



ご存知ですか？茨木病院ホームページ

ホームページを便利に利用してください。茨木病院と法人事業の「お知らせ」など、あれこれわかります。広報誌「てとて」、「葉の花レター」を見ることが出来ますよ♪



パソコンやスマートフォンで見ることができてとっても便利

茨木病院 🔍 検索

「就労支援センターオンワーク」と「訪問看護ステーションそよかせ」のホームページが一新しました。よろしければ、のぞいてみてください。

救命救急委員会主催 院内研修



2022年5月11日 看護部の新人看護師を対象に異物除去研修を行いました。

高齢化社会であるため、当院にも多くの高齢の患者さんが入院されています。身体機能や嚥下機能が低下した高齢者は食べ物を喉詰めるリスクが高くなり、看護師は迅速な対応が求められます。研修では喉詰めた状況に応じた対応の仕方を学び、その後は新人同士で実践し合いました。研修を終えて「これほど体力がいると思わなかった。」「実際はもっと混乱すると思うので落ち着いて取り組めるように復習したい。」など感想が集まり、実りのある研修となりました。

2022年7月13日 看護部および病院職員対象にBLS（一次救命措置）研修を行いました。

BLSとは心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置のことで、CPR（心肺蘇生法）やAEDの使用手順について学びました。前半はDVDを視聴し、後半には3名1チームとなり、モデル人形を使って院内で倒れている人を発見すること想定した演習がありました。

いずれも例年行っている研修ですが、患者さんが急変して生命の危機に晒された際に必要となる大切な技術を学ぶ機会となっています。



茨木病院 外来案内

月	火	水	木	金	土
荻野	高橋(大)	岩井	つじ 街	高石	村木
宮本				赤浦	岩井 第24のみ

診療時間：初診・再診 予約制

休診日：日曜、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）

〒567-0801

大阪府茨木市総持寺1丁目4番1号

TEL 072-622-2721(代) / FAX 072-621-7092

□発行：医療法人清風会 広報委員会

□発行年月日：2022年10月1日

□HP：<http://www.seifukai.org>



編集後記

萬古清風（ばんこせいふう）



今年は猛暑でした。熱いと言えば高校野球！
今年の夏は、見事仙台育英高校が優勝しました。東北地方では、これまで白河の関越えは不可能と言われていた優勝ですが、107年経って初めて越えることができました。仙台育英高校の岩崎選手は、去年大病を患い、バットを5回振るのも大変な状態でしたが、めげずに練習に励み、今年6月からチームに復帰、決勝戦では見事スタメン入りし、チーム初のホームランでもある満塁ホームランを打ち、チームの優勝へと導きました。コロナ禍でやりたい事が思うようにできない時代ですが、岩崎選手のように、何事にも諦めずできる事をすれば、必ず結果に繋がります。白河の関越えのように、越えられない壁はないのです。

広報委員 池澤 祐香



受診や面会などで駐車場（菜の花横のコインパーキング：東洋カーマックス）をご利用の際は、駐車券を受付でご提示ください。サービス券をお渡しします。なお、タイムズ駐車料金の割引はできませんのでご注意ください。